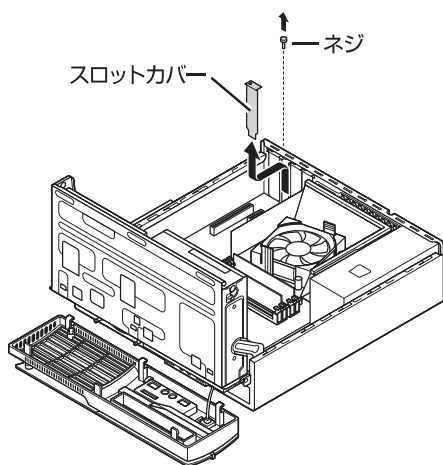


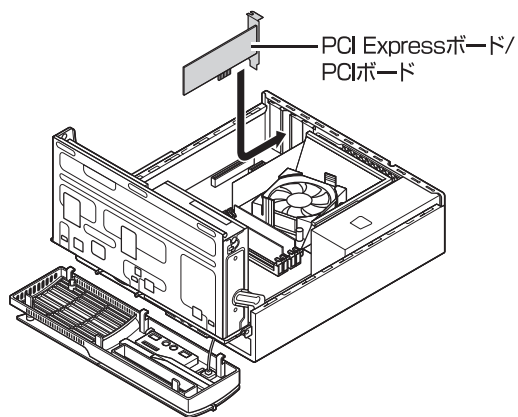
- 3** 空いているスロットのネジを外し、図のようにスロットカバーを取り外す



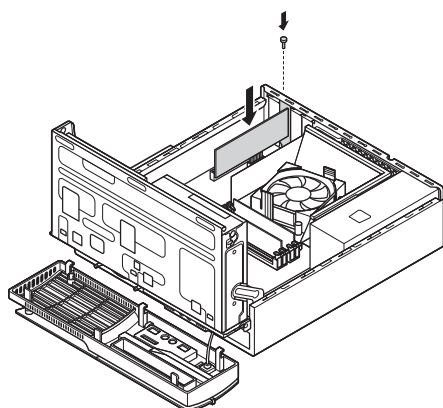
- 4** 図のように取り付けるPCI Expressボード/PCIボードの固定部を本体のカード取り付け部に差し込む

**重要**

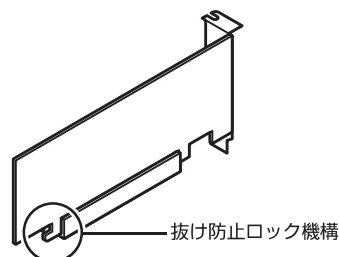
PCI Expressボード/PCIボードを持つときは、ボード上の部品やツメ(端子)部品に触れないように注意してください。



- 5** PCI Expressボード/PCIボードをスロットに差し込み、外したネジで固定する



PCI Express(×16)ボードを取り付ける場合には、ボードが抜け防止ロック機構で固定されていることを確認してください。



**重要**

抜け防止ロック機構で固定できないボードもあります。

- 6** 本体のドライブベイ、フロントマスクを戻し、サイドカバーを取り付ける

ドライブベイ、フロントマスクの戻し方について [\[参照\]](#) 「ドライブベイの戻し方」(p.3)  
 サイドカバーの取り付け方について [\[参照\]](#) 「サイドカバーの取り付け方」(p.3)

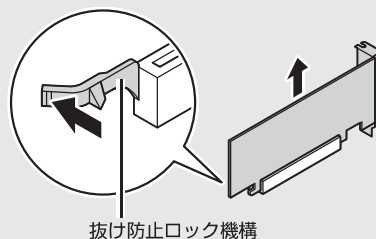
### PCI Expressボード/PCIボードの取り外し方

PCI Expressボード/PCIボードを取り外すときは、PCI Expressボード/PCIボードの取り付け手順と逆の手順でおこなってください。

## 注意



PCI Express(×16)ボードが抜け防止ロック機構で固定されている場合は、無理に取り外そうとすると、本体またはPCI Express(×16)ボードの破損の原因になります。次の図のように、抜け防止ロック機構を操作し、ロックを外した状態で取り外しをおこなってください。



## メモリ

より大きな容量のメモリをパソコンの内部に取り付けることで、ソフトを同時に起動したり、大きなデータを扱う際、より高速に処理することができるようになります。

このパソコンでは最大32Gバイトのメモリを搭載可能ですが、PCIデバイスなどのメモリ領域を確保するために、すべての領域を使用することはできません。また、装置構成によってご利用可能なメモリ容量は異なります。

### メモリを増やす流れ

#### ● 増設の準備

- ▶ メモリ容量を確認する(p.7)
- ▶ メモリスロットを確認する(p.8)
- ▶ このパソコンで使えるメモリ(p.8)

#### ● 増設メモリ(別売)を購入

#### ● 増設メモリの取り付け

- ▶ メモリを取り扱うときのご注意(p.8)
- ▶ メモリを取り外す(p.9)
- ▶ メモリを取り付ける(p.10)

#### ● メモリ容量を確認

- ▶ 増やしたメモリ容量を確認する(p.11)

### メモリ容量を確認する

次の手順でお使いのモデルのメモリ容量を確認できます。

メモリをどれくらい増やせるかの参考にしてください。

- 1 スタート画面で「デスクトップ」をクリックする
- 2 チャームバーを表示し、「設定」をクリックする
- 3 「コントロールパネル」をクリックする
- 4 「システムとセキュリティ」をクリックする
- 5 「システム」をクリックする

表示された画面の「実装メモリ(RAM)」を確認してください。



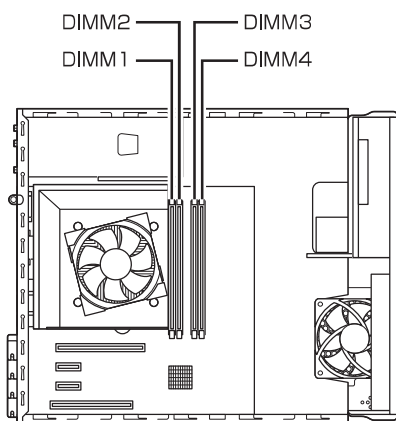
メモリ容量は実際より少なく表示される場合がありますが、故障ではありません。

## メモリスロットを確認する

### ●このパソコンのメモリスロットについて

このパソコンには、メモリを差し込むスロット(コネクタ)が、4つ用意されています。

次の図のDIMM4とDIMM2、DIMM3とDIMM1の組み合わせでデュアルチャネルとして動作します。



### !重要

メモリを取り付ける際のメモリスロットの優先順位はDIMM4→DIMM2→DIMM3→DIMM1です。

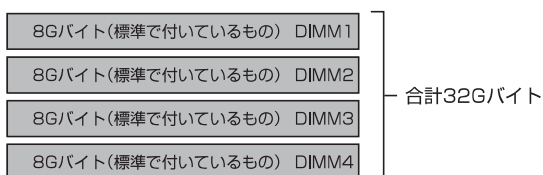
### ●メモリスロットへの取り付けについて

ここでは、ご購入時にスロットに4Gバイトのメモリが2枚取り付けられている場合を例として、増設メモリをメモリスロットへ取り付ける手順を説明します。



### 例:メモリを32Gバイト(最大)に増やす場合

まず、ご購入時にスロットに取り付けられている4Gバイトのメモリ2枚を取り外して、いったんスロットを空にします。次に空になった各スロットに8Gバイトの増設メモリを取り付けます。



このパソコンはデュアルチャネルに対応しています。デュアルチャネルとは、同容量の2枚のメモリに同時にアクセスすることで、メモリのデータ転送性能を高速化する技術のことです。

### !重要

デュアルチャネルメモリの性能を最大限に引き出すために、増設時は、DIMM4とDIMM2、DIMM3とDIMM1に同容量のメモリを取り付けることをおすすめします。スロットごとに異なる容量のメモリを搭載しても動作しますが、一部のソフトでは十分な性能が出ない場合があります。

## このパソコンで使えるメモリ

次のタイプの増設メモリ(別売)をおすすめします。

型名	メモリ容量
PC-AC-ME062C	8Gバイト

(DDR3 SDRAM/DIMM、PC3-12800タイプ)

### !重要

- ここで紹介したタイプ以外の増設メモリには、このパソコンで使えないものがあります。ご購入前に確認してください。
- NECでは市販の増設メモリに関する動作保証やサポートはおこなっていません。販売元にお問い合わせください。


## メモリを取り扱うときのご注意

- ・メモリは静電気に大変弱い部品です。身体に静電気を帯びた状態で扱っていると破損する原因になりますので、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に触れて静電気を取り除いてください。
- ・メモリは、大変壊れやすい部品です。メモリを取り外した際は、大切に保管してください。再セットアップをおこなうときに必要となる場合があります。


## メモリを取り外す

イラストは実際の製品と異なることがあります。

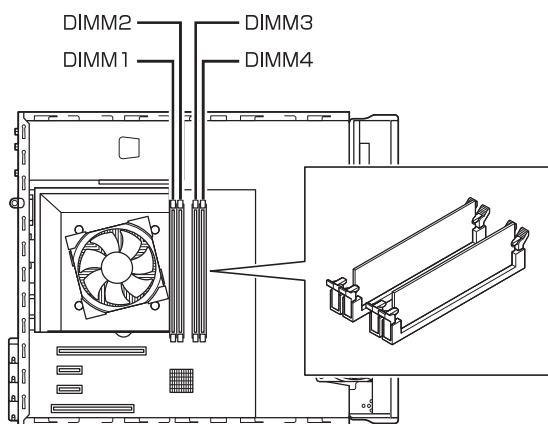
### 1 本体のサイドカバーを外す

サイドカバーの外し方について  「サイドカバーの外し方」(p.1)


### 2 本体のフロントマスクを外し、ドライブベイを起こす

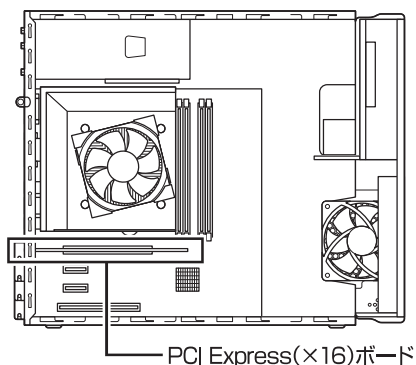
ドライブベイの起こし方について  「ドライブベイの起こし方」(p.2)

### 3 メモリスロットの位置を確認する

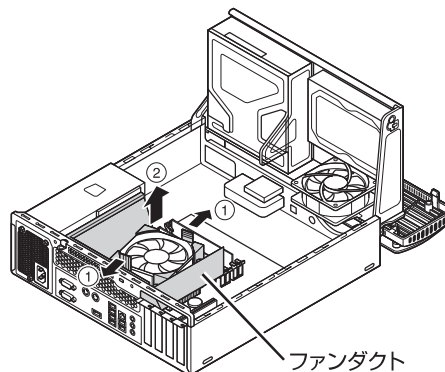


### 4 PCI Express(×16)ボードを取り付けている場合で、メモリスロットのフックが操作しにくいときは、PCI Express(×16)ボードを取り外す

PCI Express(×16)ボードの取り外し方  「PCI Express ボード/PCI ボードの取り付けと取り外し」(p.5)



### 5 DIMM1、DIMM2のメモリスロットのメモリを取り外すときは、ファンダクトのロックレバーを外側に広げ、ファンダクトを持ち上げて取り外す

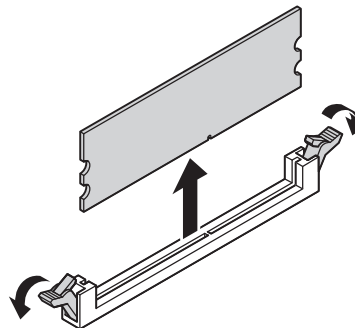


### 6 メモリスロットの両側のフックを外側に開き、メモリを引き抜く

#### ! 重要

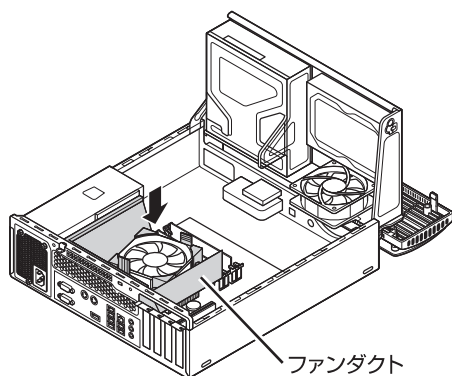
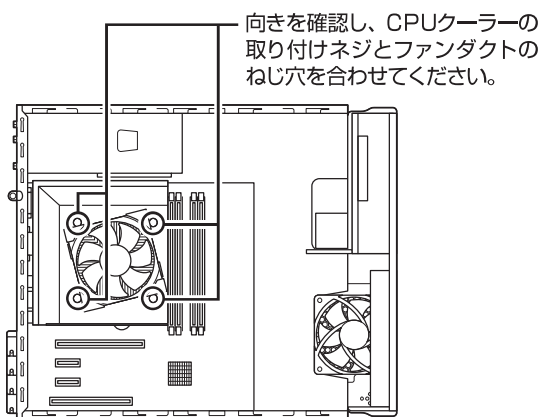
フックを開きすぎて破損しないように気をつけてください。

メモリはゆっくりと垂直に引き抜いてください。




- 7** メモリを取り外すときに、ファンダクトを取り外した場合には、ファンダクトの向きを確認し、もとおりに取り付ける
- ファンダクトは向きを確認し、CPUクーラーの取り付けネジとファンダクトのねじ穴を合わせ、カチッと音がしてレバーがロックされるまで押し込んでください。



上から見た図



- 8** メモリを取り外すときにPCI Express (×16)ボードを取り外した場合には、もとおりに取り付ける

PCI Express(×16)ボードの取り付け方について  
 「PCI Expressボード/PCIボードの取り付けと取り外し」(p.5)

- 9** 本体のドライブベイ、フロントマスクを戻し、サイドカバーを取り付ける

ドライブベイ、フロントマスクの戻し方について  
 「ドライブベイの戻し方」(p.3)  
 サイドカバーの取り付け方について  「サイドカバーの取り付け方」(p.3)

## メモリを取り付ける

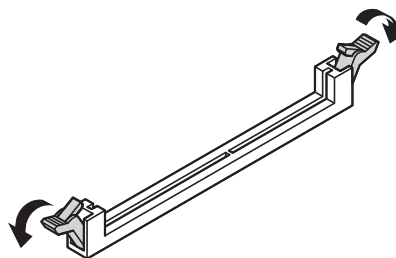
### 注意



メモリを差し込むときは、強い力が必要になることがありますので指をぶついたり、切ったりしないように、注意して作業してください。

イラストは実際の製品と異なることがあります。

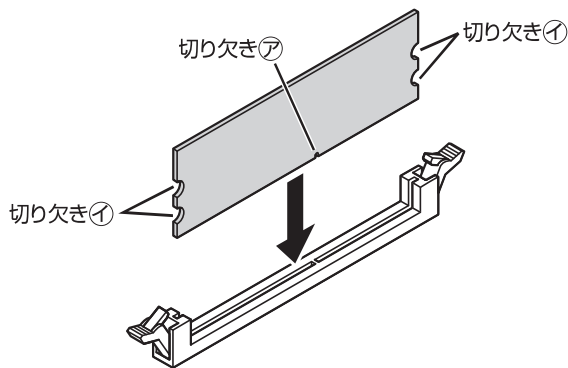
- 1** 「メモリを取り外す」の手順1~5をおこない、メモリスロットを確認して取り付けることができるようにする
- 2** メモリスロットの両側のフックを外側に開く



- 3** メモリとメモリスロットのミゾを合わせる
- メモリの端子部分の切り欠きとメモリスロットのミゾの区切れ目を合わせ、垂直に軽く差し込んでください。

### 重要

- メモリの端子部分の切り欠きとメモリスロットのミゾの区切れ目が合っていないと差し込むことができません。無理に取り付けようとすると、メモリスロットやメモリが破損する原因になりますので注意してください。
- メモリの金属端子部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因になります。



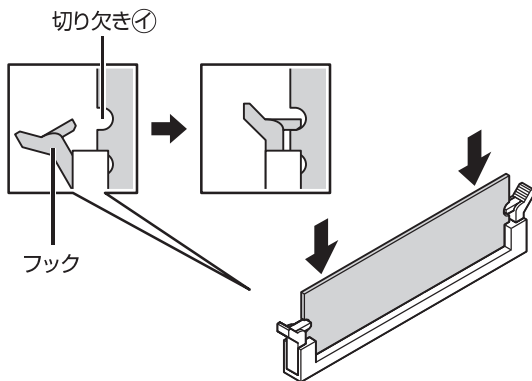
**4** メモリをメモリスロットに奥まで差し込む  
そのまま垂直方向に力を加え押し込んでください。

**!** 重要

しっかり差し込んでおかないと、故障の原因になります。

**5** メモリがメモリスロットにロックされたことを確認する

正しくロックされている場合は、メモリスロット両側のフックがメモリの切り欠きにかかっています。フックがかかっていない場合には、指でフックを切り欠きに引っかけてください。



**!** 重要

指でロックさせる場合には、強い力は不要です。うまくロックできないときは、無理に押し込まずに、メモリを差しなおしてください。

**6** 「メモリを取り外す」の手順7～9をおこなう

**増やしたメモリ容量を確認する**

パソコンの電源を入れ、メモリを増やす前に確認したときと同様の手順で、メモリ容量を確認できます。

メモリ容量を確認する  参照 「メモリ容量を確認する」(p.7)

**● 表示されたメモリ容量が増えていなかった場合**

次のことを確認してください。

- ・ 正しく取り付けられているか？
- ・ このパソコンで使えるメモリを取り付けているか？

**!** 重要

メモリを増設した場合、初期化のため、電源を入れてからディスプレイの画面が表示されるまで時間がかかることがあります。

実際に利用できるメモリ容量は、取り付けたメモリの総容量より少ない値になります。